

大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2014 - 2018 (案)

に関する御意見と計画の愛称を募集します

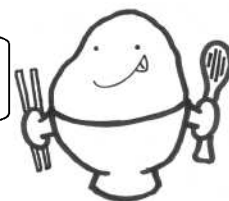
京都市では、大学振興を市政の重要な柱と位置付け、平成21年度に、平成25年度までを計画期間とする「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」を公益財団法人大学コンソーシアム京都と協働で策定し、施策を推進してまいりました。

この度、これまでの本市・大学コンソーシアム京都の取組や大学・学生を取り巻く社会状況の変化等を踏まえ、「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」の後継計画である「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2014 - 2018」(案)を取りまとめましたので、市民の皆様からの御意見を募集します。

また、本計画の愛称も併せて募集します。「大学のまち京都・学生のまち京都」にふさわしく、親しみやすいネーミングをお待ちしています。

※ 本冊子は概要版です。本冊は、京都市情報館（京都市役所のウェブサイト）の大学政策のページ（<http://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/sogo/0000160448.html>）に掲載しています。

皆様の御意見をお聞かせください！



パブコメくん

【募集期間】 平成26年1月10日（金）～2月10日（月）

【応募方法】 郵送，FAX，電子メール

【送付先及び問合せ先】

〒604-8571（住所記載不要）

京都市総合企画局 市民協働政策推進室 大学政策担当

電話 075-222-3103 FAX 075-213-0443

電子メール daigaku-shiminsanka@city.kyoto.jp

【御意見の取扱いについて】

- いただいた御意見につきましては、意見募集の終了後に、御意見の概要及び御意見に関する本市の考え方を取りまとめ、上記のウェブサイトで公表します。
- 御意見に対する個別の回答はいたしませんので、予め御了承ください。

京都市・公益財団法人大学コンソーシアム京都

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2014-2018」(案)の概要

1 計画策定の趣旨など

＜これまでの京都市と大学コンソーシアム京都の取組＞

- 1 「大学のまち・京都21プラン」策定と大学コンソーシアム京都設立、キャンパスプラザ京都設置
- 2 「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」の策定・推進
- 3 大学コンソーシアム京都の取組（単位互換、京カレッジ、インターンシップなど）

＜計画策定の趣旨＞

社会状況の変化や前計画の成果を踏まえ、京都市と大学コンソーシアム京都が協働で策定

2 大学・学生を取り巻く状況と課題

＜状況＞

国内における18歳人口の長期的な減少やグローバル化に伴う国際的な大学間競争の激化により、大学・学生を取り巻く状況が厳しさを増している

＜課題＞

- (1) 学生の学びを支える環境づくりの充実
 - 大学の集積をいかした「大学のまち京都・学生のまち京都」としての更なる魅力づくり
 - 大学の個性化、学びの環境の向上に向けた主体的な活動を支援する仕組みの充実
- (2) 大学・学生の国際化を促進する仕組みの充実
 - 海外からの留学生誘致・支援を総合的に進める仕組みづくり
 - 京都で学ぶ学生が広く留学機会を得られる仕組みの充実
- (3) 学生の進路・就業への対応
 - オール京都で学生の就業力を高める取組
 - 京都の大学で学んだ学生が京都で活躍できる仕組みづくり
- (4) 大学と産業・地域との連携の強化
 - 大学と産業界・企業との連携・協働の強化
 - 大学と地域との連携を円滑にコーディネートする機能の強化
- (5) 学生の主体的活動の促進
 - 学生の力をいかすことで学生の育ちと地域の活性化につながる仕組みの充実
 - 学生が大学の枠を超え、主体的に活動できる環境づくり
- (6) 「大学のまち京都・学生のまち京都」の発信力の強化
 - 「大学のまち京都・学生のまち京都」としての個性や魅力の再認識
 - 対象を意識した効果的な情報発信・PR

3 目指すべきビジョン

世界に誇る
「大学のまち」
「学生のまち」
～世界の学生・研究者から
選ばれる都市を実現～

ビジョンの具体的なイメージ

- 1 京都で学ぶ魅力を実感できるまち
- 2 グローバルな視野を持った人財が集い、育つまち
- 3 京都で学んだ学生がいきいきと活躍するまち
- 4 産学公地域連携による活力にあふれたまち
- 5 学生が主体的に活動し、輝くまち

計画の推進

計画推進組織

京都市、(公財)大学コンソーシアム京都、大学、学生、企業、NPO等からなる「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」による計画の進行管理

計画推進期間

平成26年度から5年間

4 施策の推進

1 学生が学ぶ環境の充実

＜リーディング施策＞

- (1) 「量から質へ」単位互換科目の魅力の向上
- (2) 「景観と機能の調和」大学施設整備の支援

＜推進施策＞

- (1) 「安全に安心して学べる京都」の充実
- (2) 学生が京都とふれあい、協働する環境づくり
- (3) 大学経営・運営の支援
- (4) 多様な大学・学生活動拠点の活用・設置の促進

2 大学・学生の国際化の促進

＜リーディング施策＞

- (1) 「京都を知ろう」留学生誘致に向けた海外への広報
- (2) 「京都に触れよう」大学のまち京都の魅力を実感できる短期留学受入の実施
- (3) 「世界を見よう」京都で学ぶ学生の海外留学派遣の強化

＜推進施策＞

- (1) 留学生支援機能の強化
- (2) 留学生等に住み良いまちづくり
- (3) 留学生の進路・社会進出の支援
- (4) 大学職員の国際化の支援
- (5) 海外との学術教育研究の交流促進

3 学生の進路・社会進出の支援

＜リーディング施策＞

- (1) 「未来の京都を担う」京都企業と連携した人財育成
- (2) 「京都で働く」京都企業と学生のマッチングの促進

＜推進施策＞

- (1) 大学卒業後の多様な選択肢を描ける人財育成の推進
- (2) ニーズに対応した就業マッチングの促進
- (3) 進路カバーアップの推進

4 大学との連携による 京都の経済・文化・地域の活性化

＜リーディング施策＞

- (1) 「京都発イノベーション」大学との連携によるものづくり技術の継承・発展
- (2) 「飛び出す大学」大学と地域の連携・コーディネート仕組みの充実

＜推進施策＞

- (1) 産学公の連携による京都経済の活性化
- (2) 教育・研究分野の新展開を目指す大学との連携強化
- (3) 地学公の連携による地域課題への対応
- (4) 小中高大(院)連携の推進
- (5) 大学をいかした芸術文化環境の向上

5 学生が持つエネルギーをいかした 京都力の強化

＜リーディング施策＞

- (1) 「一人一人が輝く」学生の主体的活動の促進

＜推進施策＞

- (1) 学生の活動を促進する仕組みの充実
- (2) テーマごとの学生の活動の促進

6 プロモーション戦略の強化

- ＜リーディング施策＞
- (1) 「京都の大学へ行こう！」学生の力を活用した国内外への情報発信
 - (2) 「大学のまち京都・学生のまち京都」PR戦略の構築

- ＜推進施策＞
- (1) 「大学のまち京都・学生のまち京都」の中学生・高校生等への発信
 - (2) 現役・OBの学生・留学生などによる京都生活の発信
 - (3) 市民向け広報の充実

第1編 計画策定の趣旨など

1 これまでの京都市・大学コンソーシアム京都の取組

京都市では、平成5年に「大学のまち・京都21プラン」を策定し、平成10年に全国初の大学コンソーシアムとして設立された大学コンソーシアム京都と連携しながら、平成12年には京都駅前にキャンパスプラザ京都を建設するなど、「大学のまち」として先進的な取組を展開してきました。

平成21年には、京都市と大学コンソーシアム京都が協働して「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」（計画期間：平成21年度から25年度まで）を策定し、魅力と個性あふれる「世界に誇る『大学のまち』『学生のまち』」の実現を目指して54の施策を推進してきました。

<「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」に基づき進めてきた主な取組>

- ① 学生の確保に向けた学びの環境の充実
 - ・ eラーニングシステムを活用した単位互換制度の充実
 - ・ 大学施設の展開・立地の支援による大学キャンパスの市内回帰の促進
- ② 大学の国際化に向けた、優秀な留学生の受入拡大と国際社会に対応した人材の育成
 - ・ 海外での「京都の大学紹介セミナー」の開催、京都留学サイト（4言語）の開設
 - ・ 大学による海外留学派遣プログラム開発の支援
- ③ パワーあふれる「学生のまち京都」の実現
 - ・ 学生の主体的な活動を総合的に支援する「輝く学生応援プロジェクト」の実施（学生の活動拠点「学生Place^{プラス}」の設置、「むすぶネット（学生・地域連携ネットワーク）」の開設など）
- ④ 産学公地域連携の推進による京都地域の活性化
 - ・ 産学公連携によるイノベーションの創出の促進
 - ・ 大学と地域との連携による活動を支援する「学まちコラボ事業（大学地域連携創造・支援事業）」の充実

2 計画策定の趣旨

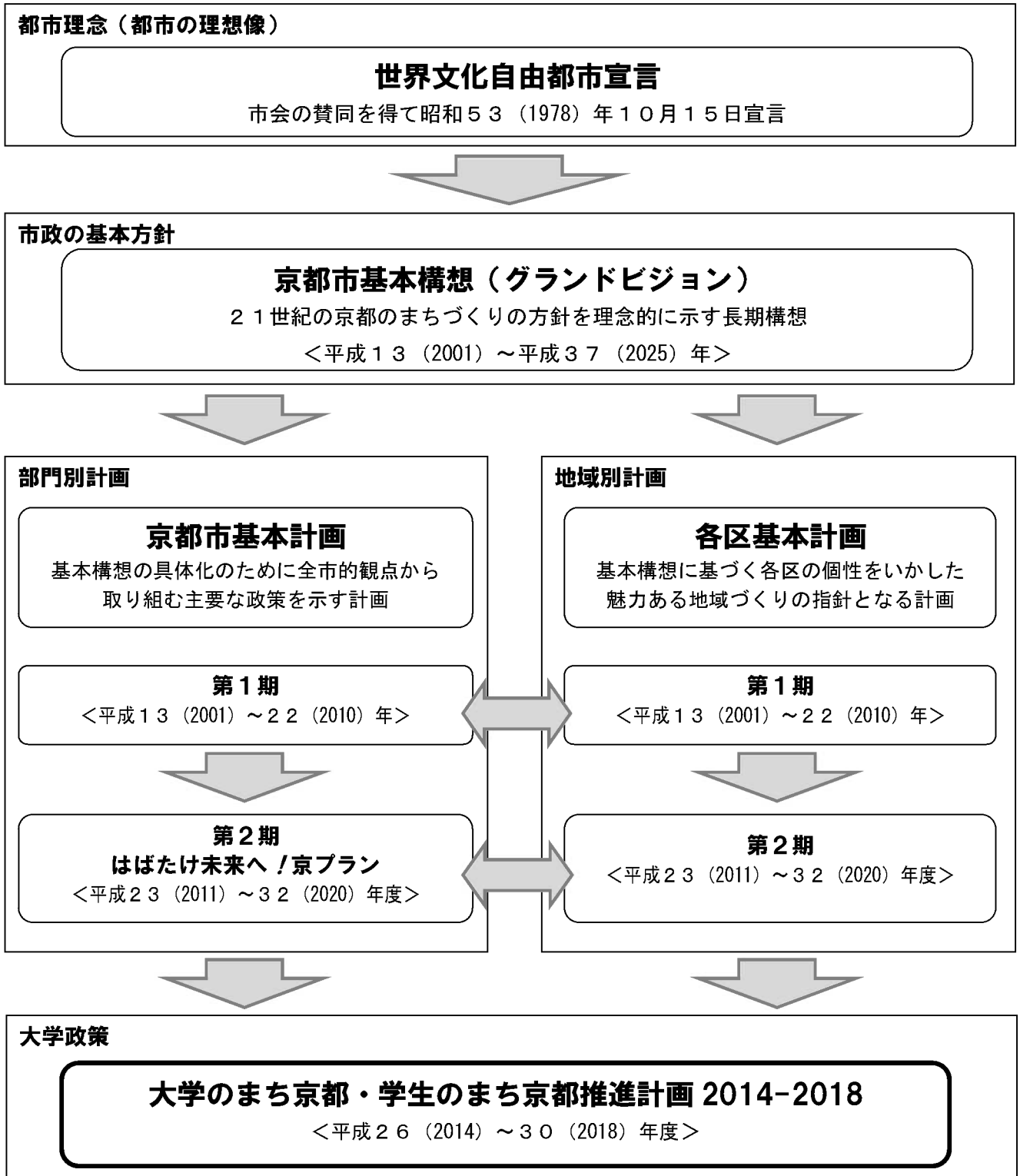
京都が「大学のまち」「学生のまち」として先進的な取組を展開し、魅力と個性を高めてきた一方で、今後、18歳人口の更なる減少や大学進学率の伸びの鈍化による受験生及び大学入学者の急激な減少、また、大学や企業を取り巻くグローバル競争の拡大など、大学・学生を取り巻く状況は更に大きく、激しく変化することが予想されます。

世界中から多様な人財が集い、羽ばたく拠点となる「大学のまち」「学生のまち」として京都が更に発展していくためには、京都市としても、大学コンソーシアム京都との連携を一層強化し、産業界や地域と一体となって、大学・学生の集積を核とした大胆な政策を展開することが求められています。

本計画「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2014-2018」は、社会状況の変化や国の動向、「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」の成果を踏まえつつ、今後5年間で取り組むべき施策をとりまとめ、京都市と大学コンソーシアム京都が協働で策定したものです。

※ 本計画においては、「人は宝である」という考え方にに基づき、固有名詞などを除いて「人材」ではなく「人財」と表記しています。

3 計画の位置づけ



4 計画の推進に向けて

(1) 計画推進組織

本計画の関係主体である京都市，大学コンソーシアム京都，各大学，学生，企業，地域（組織），NPOなどの団体，そして市民からなる「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」を継承し，産学公地域の連携で取り組むものとします。特に，京都市と大学コンソーシアム京都を中心的な主体として，計画の推進及び進行管理を行います。

本計画の推進に当たっては，計画の進捗状況の評価に，外部の視点や学生の意見を取り入れ，PDCA（Plan・Do・Check・Action）のサイクルを構築し，毎年のチェックを行うとともに，中間時点において総括を行い，成果があがらない取組の改善や中止，新規事業の検討などを行います。

(2) 計画推進期間

本計画は，近年の大学・学生を取り巻く急激かつ大きな状況変化のスピードを勘案し，柔軟な対応を図っていくため，平成26（2014）年度を初年度に，平成30（2018）年度を目標とした5年間の計画とします。

第2編 大学・学生を取り巻く状況と課題

1 大学・学生を取り巻く状況

国内における18歳人口の長期的な減少やグローバル化に伴う国際的な大学間競争の激化により、大学・学生を取り巻く状況が厳しさを増しています。

■大学・短期大学の学校数と学生数の推移

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
全国	大学・短期大学数	1,179	1,173	1,167	1,155	1,141
	学生数	3,006,884	3,042,687	3,043,496	3,018,104	3,007,132
京都市内	大学・短期大学数	37	37	38	38	37
	学生数	139,237	140,016	139,270	139,499	146,528
全国に占める 京都市の割合	大学・短期大学数	3.1%	3.2%	3.3%	3.3%	3.2%
	学生数	4.6%	4.6%	4.6%	4.6%	4.9%

※ 京都市内の大学・短期大学数は市内に本部が所在する大学・短期大学の数、学生数は市内に学部・学科・研究科が所在する大学・短期大学の学生数。

出典：文部科学省「学校基本調査」（各年度5月1日現在）

2 今後の課題

(1) 学生の学びを支える環境づくりの充実

大学の集積をいかした「大学のまち京都・学生のまち京都」としての更なる魅力づくりのため、大学の個性化、学びの環境の向上に向けた主体的な活動を促進・支援する仕組みの充実が求められています。

(2) 大学・学生の国際化を促進する仕組みの充実

グローバル化がますます進展する中、海外からの留学生の受入を促進するための総合的で一貫した誘致・支援の仕組みの充実と、京都で学ぶ学生が広く海外へ留学する機会を得られる仕組みづくりや学生の視野や意識を海外に向かわせる環境づくりが求められています。

■留学生数の推移

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
全国	123,829	132,720	141,774	138,075	137,756
京都市内	4,688	5,065	5,592	5,852	6,445

※ 京都市内は、市内に本部が所在する大学・短期大学・大学院の留学生数。

出典：独立行政法人日本学生支援機構統計、京都地域留学生交流推進協議会調査（各年度5月1日現在）。

(3) 学生の進路・就業への対応

厳しい経済状況の中、大学や企業、行政などが連携してオール京都で学生の就業力を高める取組と、京都で学んだ学生と京都企業を結びつける仕組みや機会の充実が求められています。

■大学・短期大学新卒者の就職率

		23年3月卒	24年3月卒	25年3月卒
全国	大学	61.6%(91.0%)	63.9%(93.6%)	67.3%(93.9%)
	短期大学	68.2%(84.1%)	70.8%(89.5%)	73.5%(94.7%)
京都府	大学・短期大学	60.4%(87.8%)	61.9%(87.8%)	65.1%(90.1%)

※ 就職率＝就職者数÷卒業生数。()内は就職者数÷就職希望者数。

出典：文部科学省「学校基本調査」、文部科学省・厚生労働省「大学等卒業者の就職状況調査」

(4) 大学と産業・地域との連携の強化

大学と企業や地域が結びつき、双方にメリットをもたらしてきたこれまでの蓄積をいかし、大学と産業界・企業との連携・協働の強化、大学と地域との連携を円滑にコーディネートできる機能の強化が求められています。

(5) 学生の主体的活動の促進

まちそのものが学生の学びのフィールドとなってきた京都の特徴を更に発展させ、学生が個人でも、また団体や組織単位でも、大学の枠を超え、主体的な活動ができる環境づくりと、その活動を支える仕組みの充実が求められています。

(6) 「大学のまち京都・学生のまち京都」の発信力の強化

「大学のまち京都・学生のまち京都」としての個性や魅力を再認識し、小中学・高校生、その保護者や教員、研究者、海外の学生や研究者、そして市民などに対し、それぞれのニーズを踏まえ、効果的に情報発信・PRすることが求められています。

第3編 目指すべきビジョン

世界に誇る 「大学のまち」「学生のまち」

～世界の学生・研究者から
選ばれる都市を実現～

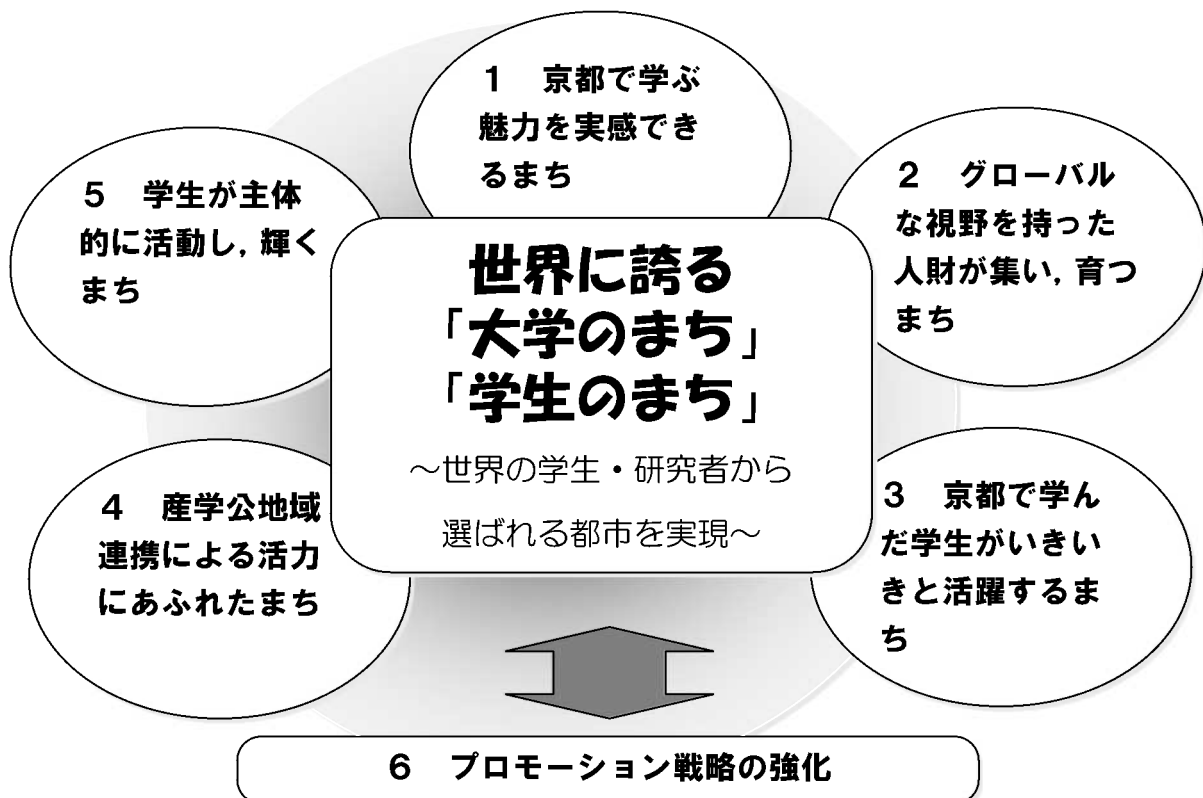
京都にとって、大学、そして学生は、文化、教育、経済はもちろん、都市格（都市ブランド）の形成やまちの活力の維持・発展など、まちづくりの多様な側面においてなくてはならない存在であり、最も重要な主体のひとつです。

しかし、大学・学生を取り巻く世界的な情勢の変化や競争の激化は、これまでになく大きく、急激なものとなっています。大学はその存在意義や生き残りをかけた個性化や教育環境づくりに懸命な取組を進めています。

大学・学生と市民とのパートナーシップによって都市の魅力や個性を高めてきた本市においても、こうした大学の努力が実を結ぶよう、「大学のまち」「学生のまち」としての特性を更に高めていく必要があります。

この計画において私たちが目指す「世界に誇る『大学のまち』『学生のまち』」とは、京都にしかないオリジナリティ豊かな学びと研究の場にあふれ、多様な学生・研究者が集い、羽ばたく拠点となるまちです。

集積された大学の知や学生の力が新たな文化・産業などの創造と地域の活性化につながり、個性・魅力・活力にあふれ、世界の学生・研究者から選ばれるまちを目指します。



第4編 施策の推進

第4編では、第3編で示したビジョンの実現に向け、6本の柱ごとに、今後5年間で取り組んでいく施策を記載しています。

<柱ごとの記載項目の位置づけ>

- まちの将来像 … 本計画のビジョン「世界に誇る『大学のまち』『学生のまち』」の具体的なイメージを、施策推進の柱ごとに示しています。
 - ※ 「6 プロモーション戦略の強化」については、他の5本の柱と位置付けが異なり、本計画全体の推進と関連する項目であるため、「方針」として記載。
- リーディング施策 … 本計画に基づき推進する施策の中で、特に重点的に取り組むべき施策を具体的に示しています。
- 推進施策 … 本計画に基づき推進する施策を示しています。
- 実施主体 … 各施策の主な実施主体を、京都市は【京都市】、大学コンソーシアム京都は【コンソーシアム】と記載しています。
- 新規施策 … 本計画に新たに盛り込んだ施策には<新規>と記載しています。

1 学生が学ぶ環境の充実

まちの将来像

京都で学ぶ魅力を実感できるまち

山紫水明の落ち着いた自然，千年を超える歴史，そこから生まれた文化芸術，伝統と進取の気風が融合する産業，そして個性にあふれた多様な大学の集積のもと，わが国の大学教育・研究をリードし，大学間連携の蓄積に培われた学びの機会と，安全で安心な学び・暮らしの環境を提供するまちを目指します。

リーディング施策

(1) 「量から質へ」単位互換科目の魅力の向上【コンソーシアム】＜新規＞

大学コンソーシアム京都が提供する単位互換科目の内容・数ともに精査を図り，改めて「大学のまち京都」ならではの学生にとって魅力のある単位互換制度の再構築を図る。また，各科目を学生が評価し，改善するための仕組みの導入について検討する。

《主な具体的取組》

- ・ 京都だからこそ提供できる特色ある単位互換科目の開発
- ・ 学生などの評価に基づく単位互換科目改善の仕組みづくり

(2) 「景観と機能の調和」大学施設整備の支援【京都市】

京都らしい都市景観の形成と大学の個性をいかした施設（機能）整備との調和を図るため，地区計画などの弾力性を持った制度を効果的に運用している。その効果を最大限に発揮できるよう，大学施設整備支援のワンストップ窓口を設け，技術的な助言・提案や調整を行っており，今後，市有地の活用も含めた総合的な支援を更に充実させる。

《主な具体的取組》

- ・ 市有地活用や民有地情報の提供による大学施設の展開・立地の推進
- ・ ワンストップ窓口として，施設構想の段階から整備終了までの一貫した迅速な支援

推進施策

(1) 「安全に安心して学べる京都」の充実【京都市】

- ① 学生の安全・安心に対する意識を高めるための啓発<新規>
 - ・ 防災・防犯などに関する注意点などを総合的に盛り込んだハンドブックの作成
- ② 災害時における学生の安全の向上と学生の力を活用した支援活動の展開<新規>
 - ・ 「京都市事業所帰宅困難者対策指針」に基づく、各大学における大規模災害に備えた安全対策や非常用物資備蓄などの推進，学生ボランティアの力を活用した発災時の帰宅困難者の支援の促進
- ③ 学生が犯罪・交通被害・消費者トラブルに遭わない環境づくり<新規>
 - ・ 学生の防犯意識・規範意識の向上
 - ・ 防犯カメラ・街路灯・駐輪場などの整備の促進
 - ・ 大学と連携した，学生の消費者トラブル未然防止策の実施
- ④ 障害のある学生などすべての人が学ぶことのできる環境づくり<新規>
 - ・ みやこユニバーサルデザインアドバイザー派遣事業による大学の環境整備支援
 - ・ 単独で外出が困難な障害のある学生への通学支援の実施

(2) 学生が京都とふれあい，協働する環境づくり【京都市，コンソーシアム】

- ① 学生が京都の魅力にふれる機会の充実
 - ・ 「Student Days」，「キャンパス文化パートナーズ制度」の充実など，学生が京都の文化を体験できる機会の拡充
- ② 学生の意見吸収システムの構築<新規>
 - ・ 学生の意向・ニーズを把握する仕組みの構築（スマートフォンなどの情報端末を活用したアンケートなど）
- ③ 学生が地域の一員として暮らせる環境づくり<新規>
 - ・ 自治会・町内会などの地域コミュニティの役割や活動などに関する情報発信
 - ・ 学生を地域の一員として積極的に迎え入れるよう，自治会・町内会などに対する啓発の実施

(3) 大学経営・運営の支援【京都市，コンソーシアム】

- ① 京都FD・SDプログラムの充実
 - ・ 大学の教職員の能力を向上させる研修プログラム（コンソーシアム主催事業）の充実
- ② 大学への寄付の増進
 - ・ 大学への寄付に伴う所得税・個人市民税控除制度の広報，個人市民税控除制度の指定大学の拡大

(4) 多様な大学・学生活動拠点の活用・設置の促進【京都市，コンソーシアム】

- ① キャンパスプラザ京都の利用促進
 - ・ 市民や学生，研究者などに対する積極的な広報
- ② 大学サテライトなどの設置支援
 - ・ 京町家や近代建築に対する建築基準法の適用除外制度などを活用したまちなかキャンパスなどの設置促進

※単位互換制度

…他大学が開講する科目を履修し、修得した単位が所属大学の単位として認定される制度。大学が、単位互換包括協定を締結し、科目を提供。

※地区計画

…住民の生活に身近な地区を単位として、道路、公園などの施設配置や建築物などに関する事項について、地区特性に応じてきめ細かなルールを定めるもの。

※FD

…Faculty Development の略。教員の教育力向上と大学の組織的教育改善の取組。

※SD

…Staff Development の略。職員の職能開発。

※サテライトキャンパス

…大学などの本部から地理的に離れた場所に設置されたキャンパス。

2 大学・学生の国際化の促進

まちの将来像

グローバルな視野を持った人財が集い、育つまち

世界中の学生・研究者が集い、優れた教育研究環境のもと切磋琢磨し、地域とのふれあいや多文化交流を通じて充実した大学・研究生活を過ごすことで、京都を愛し、将来にわたって京都で、そして世界と京都を結んで活躍する人財が育つまちを目指します。

また、海外からの留学生・研究者との交流や海外留学などを通じて、このまちで学ぶ学生が、グローバルな視野を持った人財として育つまちを目指します。

リーディング施策

(1) 「京都を知ろう」留学生誘致に向けた海外への広報【京都市、コンソーシアム】

世界中の若者に「京都の大学に行きたい」、「京都で学生生活を送りたい」という思いを持っていただき、京都の大学への留学を促進するため、京都の大学で学んでいる学生が、日ごろ感じている学生生活やまちの魅力を学生ならではの視点で世界中に発信する。

また、東南アジアなど、今後留学生の増加が見込める地域を主なターゲットに、「大学のまち京都」の魅力発信を強化する。

〈主な具体的取組〉

- ・ 京都で学ぶ留学生ならではの視点で京都での大学生活の魅力を伝え、留学生の誘致につなげるPR映像などの制作・発信
- ・ 東南アジアも視野に入れた「京都の大学紹介セミナー」の開催
- ・ 「京都留学サイト」（4言語）の運営
- ・ 市の友好交流都市（姉妹都市、パートナーシティ）や関係機関などとの連携による情報発信

(2) 「京都に触れよう」大学のまち京都の魅力を体感できる短期留学受入の実施

【京都市、コンソーシアム】〈新規〉

日本への留学に関心がある海外の学生（海外の大学で日本文化を学ぶ学生など）に、体験的に京都を訪れ、大学や文化・産業などの奥深い魅力を知ってもらうことにより、将来的な長期の留学などにつなげる。

〈主な具体的取組〉

- ・ 大学コンソーシアム京都との協働による、特色ある大学講義と京都体験（伝統文化、伝統産業、先端産業など）を組み合わせた2週間程度のプログラムの開発・実施
- ・ 大学コンソーシアム京都が連携している海外の大学コンソーシアムや海外の大学の日本研究センターなどを通じた短期留学受入プログラムの広報

(3) 「世界を見よう」京都で学ぶ学生の海外留学派遣の強化【京都市, コンソーシアム】

グローバルな視野を持って活躍できる学生を京都から育てていくため、京都で学ぶ学生の海外留学の機会づくりを支援する。

《主な具体的取組》

- ・ 大学コンソーシアム京都における海外の協定大学コンソーシアムとの連携による留学プログラムの継続実施
- ・ 大学の海外留学派遣プログラム開発支援の継続実施
- ・ 大学の留学プログラム実施に係る支援策の検討

推進施策

(1) 留学生支援機能の強化【京都市, コンソーシアム】

- ・ 留学生誘致から卒業後の進路支援までを総合的に支援する体制・機能の強化

(2) 留学生などに住み良いまちづくり【京都市, コンソーシアム】

① 住宅関連企業による留学生向け住宅斡旋の促進<新規>

- ・ ウェブサイト「外国人のためのお部屋情報 HOUSE navi」における、日本独特の商慣行（敷金・礼金など）を省略した民間住宅などの紹介の促進

② 留学生向け住宅の提供支援

- ・ 民間住宅・市営住宅の空き家を活用した単身留学生向けの安価な住宅を提供する仕組みを大学と連携して実施
- ・ 世帯留学生向けの市営住宅の提供拡大

③ 留学生などの生活支援

- ・ 留学生の相談に応える体制の充実
- ・ 各種支援制度に関する広報・情報提供の強化

④ 留学生の交流機会の充実<新規>

- ・ 「外国人留学生交流等促進補助事業」の推進
- ・ 京都学生祭典への留学生の参画の促進

⑤ 京都を好きになってもらう取組の充実

- ・ 留学生優待プログラムの充実

(3) 留学生の進路・社会進出の支援【京都市, コンソーシアム】

- ・ 国際交流会館などにおける留学生向けジョブフェアの開催
- ・ ウェブサイト「京都市留学生いきいき人材バンク（kokoka 留学生ねっと）」「World Stage」における就職情報の発信
- ・ 京都府の「京都ジョブパーク・留学生コーナー（海外人材ジョブカフェ）」との連携

(4) 大学職員の国際化の支援【コンソーシアム】<新規>

- ・ 英会話スキルアップ、海外の大学との交渉スキルアップなど、大学職員の国際化を支援する職員研修プログラム（コンソーシアム主催事業）の開発・実施

(5) 海外との学術教育研究の交流促進【京都市, コンソーシアム】<新規>

- ・京都市と海外の都市における「パートナーシティ」提携を進める中での海外と京都の大学・大学コンソーシアム・学生間の連携・交流の促進

※外国人のためのお部屋情報 HOUSE navi

…公益財団法人京都市国際交流協会と公益財団法人日本賃貸住宅管理協会京都府支部が協働で運営する、外国人のための物件検索サイト。英語・中国語・ハングルでも利用が可能。

※外国人留学生交流等促進補助事業

…留学生と地域の交流を促進し、応援するため、留学生を含む市民団体などが主体となって行う留学生との交流事業に対する補助制度。

※World Stage

…留学生向け就職情報サイト。

※京都ジョブパーク・留学生コーナー（海外人材ジョブカフェ）

…府内大学で学ぶ留学生などの京都企業への就職支援と、留学生の雇用を検討している京都企業を支援するための就職・雇用相談を実施。

※パートナーシティ

…民間レベルでの交流を主体とする、「文化・芸術」、「学術研究・教育」、「経済」などの特定分野での都市間交流。

3 学生の進路・社会進出の支援

まちの将来像

京都で学んだ学生がいきいきと活躍するまち

キャリア教育や企業との出会い・交流を通じて卒業後の進路を自ら選択し、目標に向かって努力し、社会でいきいきと活躍できるよう、しっかりとした職業観や自立意識を持った学生を育むまちを目指します。

また、京都企業や地域で活躍できる仕組みをつくることにより、京都を愛する学生が活躍するチャンスにあふれたまちを目指します。

また、海外からの留学生・研究者との交流や海外留学などを通じて、このまちで学ぶ学生が、グローバルな視野を持った人財として育つまちを目指します。

リーディング施策

(1) 「未来の京都を担う」京都企業と連携した人財育成【京都市】＜新規＞

グローバルな視野を持ちながら地域で活躍する「グローバル人財」を育成するとともに、留学生を含む学生が京都の企業を知り、京都の企業が学生を知る機会をつくるため、大学や国籍の垣根を超えた多様な学生がチームを編成し、京都企業と連携したプロジェクト（学生から企業への提案、企業の提示する課題の解決など）に取り組む。

《主な具体的取組》

- ・ 京都で学ぶ学生や留学生からなる学生チームと京都企業との連携プロジェクトの実施
- ・ プロジェクトを通じた、留学生を含む学生の職業観の育成と京都企業への就職の意識づけ

(2) 「京都で働く」京都企業と学生のマッチングの促進【京都市】＜新規＞

学生が大手の就職情報サイトで情報収集し、大企業を中心にエントリーシートを提出する就職活動のスタイルが一般化しており、多くの学生が情報に振り回されているという状況の中、学生が京都企業についての情報を的確に取得し、京都への人財の定着につながるよう、オール京都で学生の京都企業への就職を促進する。

《主な具体的取組》

- ・ 京都企業・就業情報データベースシステム「京のまち企業訪問」の充実（府のシステムとの統合により掲載企業の増加を図るなど）
- ・ 「京のまち企業訪問」合同企業説明会の実施

推進施策

(1) 大学卒業後の多様な選択肢を描ける人財育成の推進【京都市，コンソーシアム】

① 京都市フルカバ―学生等就職支援事業の推進<新規>

- ・ 大学生や既卒者を対象とした社会人としてのマインドの醸成や就職に関する相談，京都の企業訪問などの実施

② 段階的に職業観を育むキャリア教育の推進<新規>

- ・ 「スチューデントシティ学習」「ファイナンスパーク学習」などの推進

③ 大学コンソーシアム京都インターンシップの充実<新規>

- ・ 留学生向けインターンシップの検討，長期メニューの充実などによるインターンシップ制度の再構築

④ 学生のベンチャー・ソーシャルビジネスマインドの育成<新規>

- ・ 京都高度技術研究所におけるセミナーの開催，京都市ソーシャルビジネス支援事業の推進

(2) ニーズに対応した就業マッチングの促進【京都市】<新規>

- ・ 芸術系大学や短期大学など，対象を限定した出張企業説明会の実施

(3) 進路カバーアップの推進【京都市】<新規>

- ・ 卒業間近で就職先が決まっていない学生や卒業後の就職希望者などを対象としたカウンセリングやセミナーなどの開催

※京都企業・就業情報データベースシステム（京のまち企業訪問）

…就業情報や市内中小企業の魅力ある情報を発信するウェブサイト。2,400以上の企業情報を掲載（平成25年12月現在）。

※京都市フルカバ―学生等就職支援事業

…就職活動をスタートする大学生，既卒者（卒業後3年以内）を対象とした，京都市から事業受託した京都経営者協会が運営する事業。社会人に必要なマインドを醸成する集中セミナー，就職に関する相談などにより個々のキャリア形成などをサポート。

4 大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化

まちの将来像

産学公地域連携による活力にあふれたまち

大学が有する人財や研究開発力・研究成果が、京都の多様な産業や地域コミュニティと協働・融合し、伝統産業や伝統文化など京都の誇る個性を継承・発展させるとともに、世界で最先端の産業や文化を創造し続け、社会問題の解決や地域活性化などの課題に対して、常に京都ならではの意欲的な取組モデルを展開し続けるまちを目指します。

リーディング施策

(1) 「京都発イノベーション」大学との連携によるものづくり技術の継承・発展【京都市】

京都に集積する大学や研究機関の「知」と、優れた企業の「技術」を融合する、産学連携プロジェクトを積極的に推進することにより、イノベーション（技術革新）を加速し、付加価値の高いものづくりを通じて、産業競争力の確保と新規事業の創出を図る。

《主な具体的取組》

- ・ 「京都市成長産業創造センター」における産学共同研究プロジェクトの推進
- ・ 「研究成果展開事業（スーパークラスタープログラム）」や「地域イノベーション戦略支援プログラム」における産学連携による環境分野の研究開発及び事業化の推進
- ・ 京都産学公共同研究拠点「知恵の輪」における地域の大学との共同研究推進

(2) 「飛び出す大学」大学と地域の連携・コーディネートの仕組みの充実

【京都市、コンソーシアム】

大学と地域連携協定を締結する区役所が増えており、また、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」開始など、大学が地域と連携する志向が強まる中、大学と地域との連携や協働を更に促進するための支援やコーディネートの仕組みの充実を図る。

《主な具体的取組》

- ・ 京都市の部局や区役所と大学との協定締結による連携事業の推進
- ・ 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」における大学・学生枠の設置による事業の推進
- ・ 地域活性化や課題解決に向けた大学と地域の一体的な取組を支援する「学まちコラボ事業」の推進
- ・ 大学の地域連携センターなどのネットワークを作り、そこでの取組内容の情報を区役所に提供するなどして、地域とのマッチングを図る仕組みづくり
- ・ 「地（知）の拠点整備事業」採択校との連携、今後申請する大学への支援の推進（申請内容に対する助言・提案など）

推進施策

(1) 産学公の連携による京都経済の活性化【京都市】

① 産学公連携コーディネート機能の向上

- ・ 京都市産業技術研究所などにおける大学シーズの活用事例の情報発信，産学連携コーディネート機能の強化

② 芸術・社会科学系学部と企業の連携強化<新規>

- ・ 京都産学公連携機構における「文理融合・文系産学連携促進事業」の推進

③ 大学をいかした国内外コンベンションの誘致支援

- ・ 京都市のコンベンション誘致支援の仕組みをいかした国際会議・学会の誘致支援

④ 国内外の高度人材との交流の推進による新たな価値の創造の促進<新規>

- ・ 国内外の優れた研究者や芸術家などを呼び込み，京都の研究者や学生，企業人との知のネットワークの構築によりイノベーションを創出し，新たな価値を創造する「京都・高度人材交流拠点（仮）」の設置の検討

(2) 教育・研究分野の新展開を目指す大学との連携強化【京都市】<新規>

大学の教育・研究分野の新展開に関する情報を早い段階から共有し，京都市の施策との連携促進につながるようコーディネート機能を強化

(3) 地学公の連携による地域課題への対応【京都市，コンソーシアム】

① 地域の問題解決につながる都市政策研究の推進

- ・ 「未来の京都創造研究事業」の推進

② 地学公連携の市民への周知<新規>

- ・ 大学と地域の連携事例を紹介する「地学連携ウェブサイト」の充実

(4) 小中高大（院）連携の推進【京都市，コンソーシアム】

① 高大連携の強化

- ・ 大学と高校の共同事業や出張授業の充実
- ・ 「学びフォーラム」（コンソーシアム主催事業）の充実

② 市立小中学校・高校と大学の連携強化

- ・ 市立小中学校・高校と大学の共同研究，教員養成のための研修の充実
- ・ 学生ボランティアによる「学校サポート事業」の推進

③ 産学公連携による京都市らしい教育システムの構築

- ・ 「京都教育懇話会」による先進的な次世代教育の研究・発信，「京都子どもモノづくり事業」の推進

(5) 大学をいかした芸術文化環境の向上【京都市、コンソーシアム】

① 芸術系大学の集積をいかした芸術文化力の向上<新規>

- ・ 地下鉄駅などに学生の芸術作品を展示する事業などの促進

② 歴史・文化の蓄積をいかした社会人向け学習機会の提供

- ・ ^{みやこ}京カレッジ（生涯学習事業）の魅力の向上

③ 文化芸術教育プログラムの推進<新規>

- ・ 芸術系大学と小中学校、行政で構成する「京都芸術教育コンソーシアム」による小中学校における美術教育の充実

④ 若手芸術家・クリエイターの育成<新規>

- ・ 「東山アーティスト・プレースメント・サービス（HAPS）」「京都版トキワ荘プロジェクト」の推進による、新たな京都文化を生み出す若手芸術家などの育成

※京都市成長産業創造センター

…大学・研究機関、企業などの産学公が連携し、化学分野における最先端の大学の研究成果を実用化につなげる研究プロジェクトを推進することにより、付加価値の高い高機能性化学品の創出を通して、産業競争力の確保・新規事業の創出を図る研究開発拠点。

※研究成果展開事業（スーパークラスタープログラム）

…各地域で取り組まれてきた地域科学技術振興施策の研究成果をいかしつつ、国際競争力の高い広域連携による「スーパークラスター」を形成することを目的とする事業。京都地域は、省エネ効果のあるSiCデバイスの社会実装普及などを目指した「クリーン低環境負荷社会を実現する高効率エネルギー利用システムの構築」をオール京都体制で提案し、平成25年10月4日に本事業の中核をなすコアクラスターに採択。

※地域イノベーション戦略支援プログラム

…地域が主体的に実施する産学公連携によるイノベーション創出のためのシステム整備を図ることを目的としたプログラム。京都地域は、エネルギーを「蓄える」「創る」「うまく使う」の観点から世界のエネルギー問題に貢献する研究開発の支援などを目的とした「京都次世代エネルギーシステム創造戦略」をオール京都体制で提案し、平成25年7月1日に採択。9月1日から事業開始。

※京都産学公共同研究拠点「知恵の輪」

…独立行政法人科学技術振興機構から高度研究機器（無償貸与）の配備を受け、桂イノベーションパーク及び京都リサーチパークにおいて、京都大学などのバックアップを得ながら、先端光加工プロジェクトとバイオ計測プロジェクトを推進し、機器の共用利用による共同研究の促進や高度技術者の育成などを展開する事業。

※知（地）の拠点整備事業（大学COC事業）

…大学などが自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人財や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的とした文部科学省の事業。

※京都産学公連携機構

…京都における産学公のあらゆる機関が相互に情報を共有しながら、連携と協働を進めるための基盤として平成15年2月に設立。

※学びフォーラム

…大学コンソーシアム京都加盟校の特色ある模擬講義や体験型講座などを通じて、高校生や保護者に京都の大学の学びを紹介する高大接続のプログラム。

※学校サポート事業

…市立幼稚園・学校において、学生ボランティアが、学級活動や部活動の補助など、児童・生徒に関わる学校活動を支援する事業。

※京都教育懇話会

…京都の産学公とメディアで組織され、次世代の教育についてのあり方、人材育成の方向性を模索し、先進的な取組を京都から全国へ発信していくことを目的とした組織。

※京都子どもモノづくり事業

…「ものづくり都市・京都」の特性をいかし、産学公連携・市民ぐるみにより、小中学生がモノづくりを学び・体験する機会を創出する取組。

※京都芸術教育コンソーシアム

…京都市立小・中学校と連携し、美術教育の充実や芸術を大切にする風土づくりに取り組むため、大学コンソーシアム京都加盟の芸術系5大学（京都市立芸術大学、京都嵯峨芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、成安造形大学）と京都市、京都市教育委員会、京都市立小・中学校によって設立された組織。

※東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス（HAPS）

…京都在住の芸術家の居住・制作・発表の包括的支援や地域や国内外と芸術家のネットワーク形成など、文化芸術がポテンシャルを発揮できる環境の創造を目標とした取組。

※京都版トキワ荘プロジェクト

…京町家を活用した安価なシェアハウスの提供やマンガ家向け講習会の開催など、マンガ家志望者がプロとなるきっかけを提供するコミュニティづくりの取組。

5 学生が持つエネルギーをいかした京都力の強化

まちの将来像

学生が主体的に活動し、輝くまち

このまちに住み、集う学生の主体的な活動を支援する意識や仕組みが充実し、学生の成長を地域ぐるみで応援するまちを目指します。

また、その活動が自己実現にとどまらず、未来の京都づくりにつながる人財となって、力強いエネルギーやチャレンジ精神が地域の活性化や課題解決に寄与するまちを目指します。

リーディング施策

(1) 「一人一人が輝く」学生の主体的活動の促進【京都市、コンソーシアム】

約14万人の学生が学ぶ「学生のまち京都」として学生の力をまちの活性化にいかすため、京都のまちの活性化につながる活動や社会貢献活動を行う学生グループの活動を総合的にサポートする「輝く学生応援プロジェクト」の充実により、「地域や社会のために活動してみたいけど、きっかけがない」という学生の思いに応え、活動に結び付ける仕組みを構築する。

《主な具体的取組》

- ・ 輝く学生応援プロジェクトの充実
 - 学生Place^{プラス}における、専門知識を持つコーディネーターの助言などによる学生グループの主体的な活動の支援
 - 意欲に応じて、学生が個人単位でも社会貢献活動に参加できるようなマッチングの実施と、活動を通じた学生の成長のサポート
 - 地域と学生活動をコーディネートするマッチングサイト「むすぶネット（学生・地域連携ネットワーク）」の充実
- ・ 京都学生祭典などへの支援

推進施策

(1) 学生の活動を促進する仕組みの充実【京都市、コンソーシアム】

- ① 学生が活動するフィールドの拡充＜新規＞
 - ・ 「学まちコラボ事業」の推進
 - ・ 「地学連携ウェブサイト」の充実
- ② 学生の市政への参画の促進
 - ・ 審議会などへの学生の参画の促進

(2) テーマごとの学生の活動の促進【京都市, コンソーシアム】

① 防災, 安全・安心の取組

- ・ 「京都学生消防サポーター」制度の周知, 参加・登録の促進

② 環境にやさしい取組

- ・ 学生に無理なく実践できる環境にやさしいライフスタイルへの転換を呼びかける大学生エコライフプロジェクトの実施
- ・ 京都学生祭典におけるエコイベントの実施

③ コミュニティの活性化<新規>

- ・ 自治会活動の情報発信
- ・ 学生が自治会などの地域活動に参画する取組の推進
- ・ 学生の住居やゼミ活動の拠点としての空き家の活用の促進

※^{がくせい}学生P l a c e +

…キャンパスプラザ京都 1 階にある学生の活動拠点。専門知識を持つコーディネーターによる助言, ミーティングスペースの提供や備品の貸出など, 学生活動を総合的に支援する「輝く学生応援プロジェクト」を実施。

※京都学生消防サポーター

…各種研修などを通じて防火防災の知識や技能を身に着けた学生の力を「地域の災害対応力の強化」や「防火防災の普及啓発」につなげることを目的とした取組。平成 25 年 11 月現在, 263 名の学生が登録。

6 プロモーション戦略の強化

方針

「大学のまち京都・学生のまち京都」の効果的な発信

小学校・中学校・高校の児童・生徒や教員，保護者，そして市民など，また，海外の高校生・大学生・研究者も含め，様々な主体に対して，まちの魅力と多様な大学集積を効果的にプロモーションし，日本はもちろん，世界中に「大学のまち京都・学生のまち京都」を発信します。

リーディング施策

(1) 「京都の大学へ行こう！」学生の力を活用した国内外への情報発信

【京都市，コンソーシアム】＜新規＞

京都での学生生活や京都のまちの魅力について，京都で学ぶ学生が自ら発信することにより，世界中の若者に京都を身近に感じてもらい，京都の大学へ呼び込む。

＜主な具体的取組＞

- ・ 民間旅行事業者との連携による，大学生が修学旅行生などを案内するキャンパスツアーの実施
- ・ PR戦略と連動した，学生が主体となった効果的な広報手法の検討

(2) 「大学のまち京都・学生のまち京都」PR戦略の構築【京都市，コンソーシアム】＜新規＞

多くの大学が集積し，多くの学生が学ぶ強みをいかし，大学コンソーシアム京都と共に先駆的な取組を実施してきた「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力国内外へ効果的に発信するため，戦略的なPRを展開する。

＜主な具体的取組＞

- ・ 学識者，マスコミ関係者，広告業界関係者，学生（留学生を含む）などで構成する「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」のプロモーション検討専門部会（新設）での戦略的なPR手法の検討

推進施策

(1) 「大学のまち京都・学生のまち京都」の中学生・高校生などへの発信【京都市，コンソーシアム】

① 中学生・高校生，保護者への広報の強化

- ・ 模擬講義や体験型講座などを通じて高校生や保護者に京都の大学の魅力を伝える「学びフォーラム」の充実

② 修学旅行の誘致・受入体制の充実

- ・ 修学旅行における大学キャンパス見学などの情報を提供する「きょうと修学旅行ナビ」の充実

(2) 現役・OBの学生・留学生などによる京都生活の発信【京都市，コンソーシアム】

① 京都で学ぶ大学生やOB・OGによる情報発信＜新規＞

- ・ 京都で学ぶ大学生やOB・OGから出身地の中学生・高校生や保護者に情報発信する仕組みづくり

② 留学生や留学生OB・OGネットワークの活用＜新規＞

- ・ フェイスブック「京都留学生同窓会」による留學生生活などの情報発信

(3) 市民向け広報の充実【京都市，コンソーシアム】＜新規＞

- ・ 大学と地域の連携事例を紹介する「地学連携ウェブサイト」の充実

※きょうと修学旅行ナビ

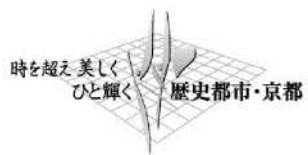
…体験学習施設やモデルコース，観光地が探せる「きょうとエリアマップ」など，京都への修学旅行をサポートするウェブサイト。

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2014-2018」(案) について

(FAX) 075-213-0443

京都市総合企画局 市民協働政策推進室 大学政策担当 宛

意見記入欄	
愛称案	
<p>御意見を取りまとめる際の参考としますので、差し支えなければ御記入ください。</p> <p>【年 齢】(歳代)</p> <p>【性 別】 1 女性 2 男性</p> <p>【居住地等】 1 京都市内 2 京都市外</p>	



発行 京都市総合企画局市民協働政策推進室
平成26年1月発行 京都市印刷物 第253143号

